

臨床研修を行う分野並びに当該分野ごとの研修期間及び臨床研修病院又は臨床研修協力施設

臨床研修を行う分野

必修科目：内科、救急部門、地域医療

病院で定めた必修科目：外科、整形外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、眼科

選択科目：内科、外科、麻酔科、整形外科、放射線科、眼科、地域保健

当該分野ごとの研修期間及び臨床研修病院又は臨床研修協力施設

一年次では内科6ヶ月間、外科3ヶ月間、救急部門を3ヶ月間研修する。二年次では、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、眼科を各1ヶ月間研修したのちに地域医療を研修する。地域医療の研修では能登地区の病院および金沢赤十字病院と連携する地域診療所を組み合わせ1.5ヶ月間研修する。二年次の残り4.5ヶ月の期間において、選択科目（内科、外科、麻酔科、整形外科、放射線科、眼科、地域保健）のうち研修医が希望する科目を、最低1科目、期間は1科目につき最低1ヶ月以上の研修を行う。ただし、地域保健の研修期間は1ヶ月とするため、その場合、地域保健を含め最低2科目選択することになる。

なお、将来専門としたい診療科研修を選択科目（ただし、地域保健を除く）のうち3ヶ月間を利用し、1年次の当初に行うこともできる。その場合、外科研修は2年次に3ヶ月行うこととする。また、1年次の研修開始時には、5日間の臨床研修オリエンテーションを行う。

CPC研修に関しては、基幹型における研修期間で自身が関わった症例について、剖検、CPC発表などを研修の後レポートを作成することとする。

1年次

内科 (6ヶ月間)	外科 (3ヶ月間)	救急部門 (3ヶ月間)
--------------	--------------	----------------

2年次

小児科 (1ヶ月)	産婦人科 (1ヶ月)	精神科 (1ヶ月)	麻酔科 (1ヶ月)	整形外科 (1ヶ月)	眼科 (1ヶ月)	地域医療 (1.5ヶ月)	選択科目 (4.5ヶ月)
--------------	---------------	--------------	--------------	---------------	-------------	-----------------	-----------------

基幹型臨床研修病院：金沢赤十字病院

(内科、外科、麻酔科、整形外科、放射線科、眼科、地域保健)

協力型臨床研修病院：金沢大学附属病院（小児科、研修実施責任者 谷内江 昭宏）

秋田赤十字病院（救急部門、研修実施責任者 宮下 正弘）

公立宇出津総合病院（地域医療、研修実施責任者 小森 和俊）

珠洲市総合病院（地域医療、研修実施責任者 追分 久憲）

岡部病院（精神科、研修実施責任者 中村 一郎）

恵愛会松南病院（産婦人科、研修実施責任者 園田 保夫）

研修協力施設：杉浦クリニック（産婦人科、研修実施責任者 杉浦 幸一）

やまかわ内科クリニック（地域医療、研修実施責任者 山川 治）

やなぎ内科クリニック（地域医療、研修実施責任者 柳 昌幸）

石川県赤十字血液センター（地域保健、研修実施責任者 塩原 信太郎）

金沢市保健所（地域保健、研修実施責任者 安部 俊男）

5. 研修医の指導体制

(1) 管理者

岩田 章（金沢赤十字病院 院長）

<役割>

- ・責任をもって、受け入れた研修医があらかじめ定められた研修期間内に臨床研修が修了できるように努める。
- ・研修修了時において、研修管理委員会からの評価に基づき、研修が修了したと認める場合に研修修了証を交付する。
- ・必要な場合、臨床研修中断証、臨床研修未修了理由書を交付する。
- ・臨床研修中断証を交付するような場合、当該研修医に対し、適切な進路指導を行う。

(2) プログラム責任者

寺崎 修一（金沢赤十字病院 消化器科部長）

<役割>

- ・研修プログラムの企画・立案及び実施の管理並びに研修医に対する助言、指導その他の援助を行う。
- ・定期的に、さらに必要に応じて随時研修医ごとに臨床研修の目標の達成状況を把握・評価し、研修期間終了時までには、修了基準に不足している部分についての研修が行えるように指導医に情報提供する等、すべての研修医が臨床研修の目標を達成できるように、全研修期間を通じて各研修医の指導を行うとともに、研修プログラムの調整を行う。
- ・研修医の臨床研修の休止に当たり、研修休止の理由を研修管理委員会に対して報告し、委員会にて正当性を判定する。
- ・研修医が修了基準を満たさなくなる恐れがある場合には、事前に研修管理委員会へ報告・相談するなどして対策を講じ、当該研修医があらかじめ定められた研修期間内に研修を修了できるように努める。
- ・研修期間の終了の際に、研修管理委員会に対して、研修医ごとに臨床研修の目標の達成状況を報告する。

(3) 副プログラム責任者

久田 幸正（金沢赤十字病院 第三内科部長）

西島 弘二（金沢赤十字病院 第三外科部長）

<役割>

- ・プログラム責任者の業務を補佐する。

(4) 研修管理委員会

<構成>

- ・研修プログラム責任者
- ・研修責任者（病院管理者）
- ・病院事務部門
- ・看護部門

- ・協力型臨床研修病院の研修実施責任者
- ・研修協力施設の研修実施責任者
- ・指導医：内科、外科、麻酔科、小児科、選択科目各医師を含む
- ・有識者（金沢市立ふるさと異人館館長、元金沢学院短期大学教授）

<役割>

- ・研修プログラムの作成、研修プログラム相互間の調整、研修医の管理及び研修医の採用・中断・修了の際の評価等臨床研修の実施の統括管理を行う。
- ・必要に応じてプログラム責任者や指導医から研修医ごとの研修進捗状況について情報提供を受ける等により、研修医ごとの研修進捗状況を把握・評価し、修了基準に不足している部分についての研修が行えるようプログラム責任者や指導医に指導・助言する等、有効な研修が行えるよう配慮する。
- ・研修医の研修期間の終了に際し、研修管理委員会は研修の修了認定の可否についての評価し、管理者に報告する。
- ・臨床医としての適性を欠く場合等研修医が臨床研修を継続することが困難であると認める場合には、当該研修医がそれまでに受けた臨床研修に係る当該研修医の評価を行い、管理者に対し、当該研修医の臨床研修を中断することを勧告する。

(5) 指導医および上級医

<役割>

- ・担当する分野における研修期間中、研修医ごとに臨床研修の目標の達成状況を把握し、研修医に対しする指導を行う。
- ・担当する分野の研修期間終了後に、研修医の評価をプログラム責任者に報告する。
- ・研修プログラムを検討し、適正なプログラムを提言する。

(6) メンター制度

- ・希望する研修医に対してはメンター制度を実施する。
- ・研修医はプログラム責任者に希望する医師を報告する。
- ・メンターは1人の研修医を担当し、2年間の初期臨床研修期間を通して指導、助言及び精神的サポート等の支援を行う。

6. 臨床研修の評価

(1) 研修医の評価

研修医は研修期間中に自身が経験した疾患や学んだことをポートフォリオに一元管理する。ポートフォリオ、「臨床研修評価シート」を用いて研修中ならびに各科目の研修終了時に自己評価を行う。研修医は各科の研修中に必要なレポートを作成し、各科の指導医に提出し評価を受ける。

「臨床研修評価シート」については、厚生労働省の定める到達目標のシートと各研修科のシートがあり、各研修科のシートについては、より具体的な内容となっており、各科の研修時に随時記入し研修医にフィードバックするために利用する。また、厚生労働省の定める到達目標のシートについては、研修の最後に修了認定のために行われる総合評価を行うため、プログラム責任者が利用する。

指導医は担当する分野の研修期間中に研修目標の到達状況をポートフォリオ、「臨床研修評価シ

ト」を用いて形成的評価を行い、研修医にフィードバックし、より効果的な研修につなげる。また、研修医が提出したレポートを評価し、担当する分野の研修終了時には、研修目標の到達状況を「臨床研修評価シート」、「指導医による研修医の評価」を用いて総括的評価をし、プログラム責任者に報告する。

プログラム責任者は当該研修期間が終了に際し、研修医の目標到達状況の総括的評価を行い、研修管理委員会に報告する。研修管理委員会はその報告に基づき、研修の終了認定の可否について評価を行う。

(2) 指導医の評価

研修医は各科目の研修終了時に「研修医による指導医の評価」を用いて指導医および指導を評価する。評価結果は研修管理委員会で検討し、研修の改善に活用する。

(3) 研修プログラムの評価

研修管理委員会で、毎年評価を行う。その際には研修医、外部団体などの評価も参考にする。